山協ニュース

岩手県山岳協会
第 204 号
平成 30 年 4 月 15 日発行
http://long-distance.jp/sangaku/

我が国有数のスピード施設完成 4 月 1 日落成セレモニー開催

待望の県営スピード施設が完成し、4 月 1 日岩手県、盛岡市、協会関係者が出席して、完成セレモニーが行われました。

スピード施設は、屋根と練習用壁二面を備えた屋外スピード施設としては国内初の施設。高さ 15m、巾 3m の競技用壁 2 面と確保用オートビレーの自動命綱、計測装置、夜間照明 2 基が整備されています。

この施設は、今後各種大会は勿論、2020 東京オリンピックの正式種目として行われるスポーツクライミングコンバインド(複合)種目のリード競技、ボルダリング競技、スピード競技の強化施設として整備を要望していた施設で、当日は設置者である岩手県文化スポーツ部工藤啓一郎参事兼総括課長をはじめ(公財)岩手県スポーツ振興事業団熊谷俊巳理事長、山本英明盛岡市民部参事兼スポーツ推進課長、、施工の菱和建設㈱民部田義男社長、選手代表の伊藤ふたば選手、協会高橋会長によるテープカットが行われ完成を祝いました。

その後、早速　山内響君(神奈川大学)、伊藤ふたばさん(盛岡中央高)の二人によるデモンストレーション登攀が行われました。

この施設では、6 月 23 日(土)と 24 日(日)の二日間、日山協主催によるスポーツクライミング第 1 回コンバインドジャパンカップ 2018 盛岡大会が開催されます。また、2020 年には、アジア大会開催に向けて準備調整が進んでいます。

本施設整備に特段のご配慮を頂いた岩手県に対し心から感謝するとともに協会として、盛岡をスポーツクライミングの拠点として発展するよう努めて行きたいと思います。

なお、利用に関しては、リード、ボルダリング施設同様、認定講習会を受講して、利用者資格認定を受けなければなりません。

詳しくは、協会競技運営部若しくは岩手県スポーツ振興事業団へお問い合わせください。

2020 アジア大会岩手・盛岡開催

IFSC 国際スポーツクライミング連盟アジア地区の会議が、2 月 24 日、25 日の二日間フィリピン・マニラで開催され、2020 年スポーツクライミングアジア大会の岩手・盛岡開催で準備がめられています。

アジア大会招致は、協会として本県のスポーツクライミングの振興、発展を図っていくうえで悲願の大会招致です。昨年から岩手県と盛岡市とともに、招致活動を展開してきました。

県内での国際大会は、久しぶりで東日本大震災から 8 年、復興途上にある岩手県民にとって勇気づけられる大会として、注目されています。

県営運動公園には、既に国内有数のリード競技施設や新設の屋根付きスピード施設、既設のボルダリング施設などスポーツクライミング施設が完備されています。

昨年はカナダナショナルチームの合宿も行われ国際的な環境も整っています。2017 年には希望郷岩手国体、リードジャパンカップなどの大きな大会を経験しています。今年は、日本で初めてのボルダリング、リード、スピードの三種目で競われるスポーツクライミングコンバイン第 1 回コンバインドジャパンカップ 2018 盛岡大会の開催も決定しており、2020 年東京オリンピックに向けて国内外から注目されています。協会では主管団体として万全を期するため(公社)日本山岳・スポーツククライミング協会、岩手県、盛岡市とともに準備会議を組織し準備に入っています。

なお、2020 年アジア大会は、5 月から 6 月の初夏の穏やかな薫風の爽やかな時期の開催を希望しています。

大会規模は、アジア地区20ケ国から約200名の選手の参加が予定されています。また、今大会は、東京オリンピックスポーツクライミングのアジア枠の五輪代表権の絡む大会となる可能性もあります。

アジア大会岩手・盛岡開催の動きに盛岡市民から、「盛岡でアジアの選手が一堂に会して国際大会が開催されるのは夢のようだ。地元でも伊藤ふたば選手をはじめ日本代表選手も育っており、活躍が期待され、本当にうれしい。皆で盛り上げたい。」との声も寄せられています。

みんなで、選手を笑顔で迎え、最高のパフォーマンスができるよう準備していきたいと思います。

平成30年度岩手県山岳協会定期総会

平成30年度岩手県山岳協会定期総会は、2月3日（土）午後1時30分からメトロポリタン盛岡ニュウインで開催されました。総会には、来賓として柳村典秀滝沢市長、盛岡市長代伊勢谷渉市民部長、八幡平市津志田勇孝地域振興課長、加盟団体の代議員、協会評議員、名誉会員、顧問、参与、役員75名が出席。会議に先立ち、物故者へ黙とうを捧げました。

会議は、矢巾山好会の三浦武雄氏を議長に選任。冒頭高橋時夫会長は挨拶で、「一昨年の希望郷いわて国体後愛媛国体での少年女子のボルダリング優勝、リード準優勝、伊藤ふたば選手の

ジャパンカップ等での活躍、盛岡一高女子のインターハイでの優勝、山の日制定記念キャンペーンでは7月1日岩手山山開きに鈴木大地スポーツ庁長官、岩泉町バレースポーツ少年団の岩手山登山の実施、そして岩手山山小屋管理、トレラン、指導者研修会が予定通り実施できたこと。また、協会法人化についても精力的な検討が行われ、次へのステップのための足固めの年であった。」と挨拶。

議事は、事業報告の承認、決算認定、平成30年度事業計画、予算について、いずれも原案通り決定しました。

また、懸案の岩手県山岳協会の一般社団法人への移行については、全会一致で決議が行われ、具体的な手続きに入ることとなりました。

平成30年度運営方針及び事業計画

◎　**運営方針**

※安全登山の普及、登山指導技術の習得と普及※組組織強化と加盟団体との交流※スポーツクライミングの啓発、指導者養成※自然保護活動の推進、※スポーツクライミング・コンバインドジャパンカップ2018の開催

(1)事務局

＊日山協、各岳連、他団体との連絡調整＊加盟団体等及び高体連登山専門部との連携強化＊事務連絡の強化と徹底＊山協ニュース、ホームページの充実、加盟団体交流事業の開催＊2020東京五輪スポーツクライミング事前合宿の招致活動＊アジア大会、国際大会の招致活動、＊一般社団法人化への移行準備

(2)指導部

＊加盟団体への技術講習と安全登山の啓発＊山岳＊スポーツクライミング指導員の養成＊指導員研修の充実、＊遭難対策技術の習得と支援体制の検討＊スポーツクライミング審判員・セッターの及び競技運営員の育成、＊指導員会との連携強化

(3)競技運営部

＊スポーツクライミング・コンバインドジャパンカップ2018の開催＊県民体育大会兼国体山岳競技選手選考会への参加促進＊鞍掛山トレイルランニング大会の開催＊スポーツクライミング競技大会の開催

(4)登山普及部

＊岩手山八合目避難小屋適正管理と環境整備＊安全登山の指導啓発＊自然保護の啓発＊ジュニア育成事業での底辺拡大と登山教室の開催＊岩手山ボッカ大将の開催　＊日本の名峰登山の開催 ＊「山の日」記念事業の実施、火山防災に関する啓発

(5)スポーツクライミング部

＊東京オリンピック対応選手の重点支援＊ボルダリング施設＊関連施設整備充実・福井国体チーム強化＊ジュニア育成体制の強化＊医科学支援体制の充実

今年度の主な行事予定

1月	・27-28　指導員研修会(久慈市)
2月	・10-11 冬山講習会兼指導員研修会(三ッ石山) ・10-12 東北高体連顧問研修会(山形)
3月	・18 岩手県ボルダリング選手権大会
4月	・28-29 岩手山山小屋開き ・28 岩手県リード選手権大会兼国体選考会 ・21. 22. 24 親子クライミング教室
5月	・19-20 残雪期講習会兼指導員研修会 ・18-19　登山基礎講習会(前期)焼石岳

6 月	・1-3　高校総体高体連登山競技(焼石岳) ・9　岩手山ボッカ大将 2018 ・16-18　全日本登山大会京都大会 ・16-17 岩手山山小屋夏山準備、常駐管理開始 ・30-7/1 東北高校登山大会(秋田駒ケ岳) ・16-17　県民体育大会山岳競技 ・23-24 スポーツクライミング・コンバインドジャパンカップ 2018 ・30-1 岩手山八合目臨時診療所開設
7 月	・1 岩手山山開き ・7. 8. 10 親子クライミング教室(盛岡市) ・22 鞍掛トレラン大会(鞍掛山) ・27-29 東北総合体育大会　(宮城)
8 月	・3-7 インターハイ　(三重県鈴鹿山系) ・10-11 岩手山ジュニア登山教室 ・5　沢登り講習会兼指導員研修会(南白沢) ・11-12 八合目避難小屋臨時診療所 ・11　山の日 ・11-13 ジュニアオリンピック南砺市 ・26 岩登り講習会兼研修会　侍浜 ・26 サマーセッション ・30-2 日本の名峰登山(黒姫山・蓼科山他)
9 月	・21-22　高体連登山基礎講習会(後期) ・28-30　高体連新人大会
10 月	・5-7 国民体育大会(福井) ・21 第 8 回県高校クライミング選手権 ・14 岩手山山小屋常駐管理終了 ・20-21　岩手山山小屋冬小屋へ切替 ・21 第 15 回ボルダリング大会
11 月	. 4. 6 親子ギッツ教室(盛岡市) ・7-11 鳥取アジア大会
12 月	・3-4 初冬期講習会兼指導員会(三ツ石山) ・23-24　全国高校選抜クライミング選手権大会
1 月	・中旬ボルダリングジャパンカップ駒沢
2 月	・中旬　東北高体連顧問研修会 ・9-10 冬山講習会兼指導員研修会(岩手山)
3 月	・17 岩手県ボルダリング選手権大会

ボルダリングジャパンカップ 2018

伊藤ふたば選手 3 位入賞

スポーツクライミングボルダリングの日本一を決める第 13 ボルダリングジャパンカップが 2 月 3 日(土)と 4(日)の二日間、東京駒沢オリンピック公園屋内球技場で開催され伊藤ふたば選手(松園中)が第 3 位入賞を果たした。

この大会には、我が国を代表して世界で活躍している選手も揃い、本県からは、男子に山内　響、中島大智両選手、女子には伊藤ふたば選手が出場した。男子の中島選手は 57 位、山内君は予選 63 位で準決勝進出はならなかった。

女子は、日本のクライミング界をリードしワールドカップの覇者でもある野口啓代(茨城)、野中生萌(東京)ら有力選手が勢ぞろいした。そんな中で、伊藤選手は、予選、準決勝を順当に勝ち進み、連覇を目指したが 3 位入賞となった。

日本選手権リード競技大会 2018

伊藤ふたば 3 位入賞

スポーツクライミング日本選手権リード競技大会が埼玉県加須市で 3 月 3 日(土)と 4 日(日)の二日間開催され男子 73 名、女子 46 名が出場した。本県からは、男子に中島大智、石嶋魁人両選手、女子に伊藤ふたば選手がエントリ。男子の中島選手は予選 30 位、石嶋選手は 48 位で予選敗退。女子の決勝トップ争いは、昨年の覇者野口、台頭著しい森、そして昨年三位入賞の伊藤の三人に絞られた。

最初に登場した伊藤は、終了地点の 7 手前まで攻め込み暫定一位、その後二番登場の森が見事完登、三連覇を目指す野口は快調に高度を上げたが最後のクロスランジのゴール取りで振られて完登ならず。惜しくも三連覇を逃し森の初優勝が決まった。

厳冬期冬山講習会

平成 30 年冬期講習会兼指導員研修会が 2 月 10 日(土)、11 日(日)の 2 日間行われた。場所は八幡平山域の三ツ石山、大深岳、源太ヶ岳をスキーで縦走するコースを計画した。講師を高体連の寺内がつとめ、土井、中島、星、駒込、及川（北上山岳会)、竹田、村上（岩手アルペンローズ)、赤澤（滝沢市山岳協会)、菊池（和賀町山岳会)、鬼川（高体連)、澤口（日本山岳会岩手支部)、韮澤（翌檜山岳会）の１３名が参加した。

毎年、厳冬期は天候に恵まれず、山行計画の変更を余儀なくされており、今回の講習会も寒波の影響で、2 日目の行程は天候次第ということで山に入った。

開講式を 8 時 30 分に行って装備を調整し、9 時 10 分出発。天気は曇りで気温０度。登山口から尾根に上がる夏山登山道は、積雪でスキーでは上がれないため、北側の斜面をトラバースしてコース標識を頼りに尾根に上がった。豊富な積雪のなかをスキーにシールをつけて快適に進む。視程は悪く遠く南の岩手山や北の源太ヶ岳は時折姿を現すのみであり、コース標識はあるがコンパスと地図で現在位置と目的地を確認しながら進んだ。途中から目指す三ツ石山荘の方向に沿って岳樺が植生しており、

これに沿って進むと予定より早く、12 時 40 分に山荘に到着した。積雪で１階部分は隠れていたがかろうじて夏季の出入り口から出入りできた。中で軽い昼食を摂って 13 時 20 分から講習を行う。まず山荘内で寺内講師から雪崩の発生メカニズムとピットチェックの方法の説明を受ける。また、中島副部長からイグルー（雪洞）の作り方について説明があり、これも各自構築することとなった。

屋外で 2 チームに分かれて、まずはピットチェックのための雪柱を作る。手順どおりに行うと弱層でズレが発生し効果を確認できた。イグルーは中島副部長が手本の１棟をあらかじめ構築しており、これに倣って構築をはじめた。雪のブロックをうまく作る要領、積む要領がなかなか掴めず、苦戦していると時間はあっという間に過ぎ、参加者で完成させた者は０であった。

15 時 30 分で講習を終わり、山荘に入って、少し早い夕食・交歓会をはじめた。大いに盛り上がるが 20 時に中締めをし、翌日に備えて就寝する。韮澤は１棟だけ完成していた中島副部長のイグルーで寝たが、中は広く、雪や風も穏やかであったため、快適に眠りについた。

翌朝は 5 時 30 分に起床し朝食を摂った。雪がしんしんと降り、気温０度、風は時折強く視界は悪く天候の好天が望めないため、安全第一を優先として大深岳、源太ヶ岳への周遊は止め、来た道を引き返すこととなった。6 時 40 分下山開始。トレースはほとんど降雪で消えている。コンパスを合わせて現在位置を確認しながら進んだ。1 時間ほど進んで休憩し、残りの斜面はシールを外して滑り降りた。雪は軽く快適で、皆それぞれのペースでシュプールを残した。登山口に全員が到着したのは 9 時 30 分。閉講式を行って解散となった。ツアースキー、テレマーク、ショートスキーのほか、スプリットボードを持参する方もおり、下りの楽しみが多様になっている。近年増えるバックカントリーでの遭難を防止、回避するためにも、講習に参加して技術知識を更新しておきたい。報告：韮澤　優（翌檜山岳会）

指導員会インドア研修会兼新年会

恒例の指導員会新年会兼インドア研修会が１月 27 日（土）と 28 日（日）久慈市の平庭山荘で開催されました。研修会には山岳、スポーツクライミング指導員 38 名が出席。机上研修講師で山岳カメラマンの中島健郎氏の「高所登山等について」の講話に耳を傾けました。中島講師は、今年 8 月に登山家平出和也さんとシスパーレ北西壁を登りアジアピオレードル賞を受賞した我が国を代表するすクライマーで、イッテＱのテレビカメラマンとしてイモトさんの山行撮影にも携わっています。

講演では、5 日分の食料を持っての難壁への二人だけでの挑戦。パートナーとの家族ぐるみの信頼関係構築等日常生活からの準備と心構え等裨益大のお話でした。夜は、恒例の地酒での交流会で盛り上がりました。来年は、北上市和賀の入畑温泉での再会を約束して散会しました。

平成 30 年度指導員会総会開催

平成 30 年度岩手県山岳協会指導員会総会は、4 月 7 日（土）午後３時から盛岡市内で開催されました。総会には、指導員会員 87 名のうち 39 名が出席。

小山勝稔会長が、「指導員としての資質向上のための各種研修会への参加、協会事業への協力等活発な活動をして行きましょう。」と挨拶。高橋協会会長が、日頃の協会への物心両面での協力に対し感謝のことばを述べました。

提出された議案は、すべて原案の通り決定。今後も自己研さんに努め、安全登山の啓発普及にご活躍をお願いします。

主な行事予定

5-6 月	スポーツクライミング研修会

30.11 月上旬	初冬期訓練会	富士山
31.1/11-14	指導員冬山合宿	八ヶ岳
31.1/26-27	指導員研修会	北上市入畑温泉
31.4.13	指導員総会	盛岡

30 年度更新対象指導員　9 月 30 日　お忘れなく。

千葉真英、阿部陽子、佐々木正彦、髙橋時夫、小野寺修
村上伸男、及川憲一、高橋和夫

2017 ウインターセッション結果

2 月 25 日(日)開催のボルダリングセッションの結果報告

部門	区分	1位	2位	3位
ジュニア	男子	中村旺太(中野栄小)	木村一智(八戸市)	阿部煌乙(八戸市)
	女子	菊池彩文(石鳥谷)	柳谷花(八戸市)	
ビギナー高校生以下	男子	菊池悠生(石鳥谷)	高鹿詳太(八戸市)	藤澤慎之助(盛工)
ビギナー高校生以下	女子	長牛明日香(盛一)	樋口風花(盛一)	愛木伶依(盛一)
ビギナー一般	男子	藤村良佑(宮城県)		
	女子	川村美沙樹(矢巾町)	吉田美由紀(盛岡市)	福田行美(盛岡市)
ミドル高校生以下	女子	髙橋美音(秋田県)	大湯凛(河南中)	佐々木彩良(和賀東)
	男子	平瀬太誠(山ノ目)	佐々木望雅(秋田)	本明佳(佐倉河)
ミドル一般	男子	本明智尚	勝又史則	梁田　睦
	女子	吉田明美		
マスター高校生以下	男子	安達凪(下ノ橋中)		
	女子	関川愛音(八戸湊小)	工藤朝花(城西中)	佐藤　歌(横手北)
マスター一般	男子	工藤晋矢(盛岡)	高田竜太(盛岡)	岩井花竜也(盛岡)
	女子	熊谷彩芳(矢巾)		
オープン高校生以下	男子	松沢修斗(八戸一)	本明優哉(水沢中)	浅石颯太(盛岡北)
オープン一般	男子	三上誉人(宮古)	長谷川健太(盛岡)	伊藤真吾(北上)

第 11 回ボルダリング県選手権大会兼国体選手選考会開催

3 月 18 日(日)、第 11 回岩手県ボルダリング選手権大会兼福井国体選手選考会が開催されました。大会には、今回も多くの出場者が参加しオープンの部では、ジャパンカップレベルの難易度の高い課題となった。課題のレベルの高さを見らせつけられる大会内容であった。主な部門別入賞者は次のとおり。

部門	区分	1位	2位	3位
マスター一般	男子	針金一馬(秋田)	水本涼太(滝沢市)	鳥屋部徹(遠野市)
	女子	金沢千怜(青森)	山瀬奈々子(埼玉)	立花里美(盛岡)
マスター高校生以下	男子	米倉司哲(岩手高)	高鹿幸汰(八戸工大)	本明佳(佐倉河小)
	女子	関川愛音(青森)	工藤朝花(城西中)	田中里旺(盛一)
オープン高校生以下	男子	石嶋魁人(盛岡南)	松沢修斗(八戸工大)	中島大智(盛岡南)
オープン一般	男子	藤原佑樹(東京)	坂本祐樹(埼玉)	昆　脩太(盛岡)

岩手県山岳協会理事会報告

平成 30 年度第 2 回常任理事会　出席常任理事 16 名
3 月 14 日(水)

協議事項

・平成 30 年度第 1 回岩手県山岳協会臨時総会付議事項の決定
　法人化に関する具体的な手続き、新法人の事業計画、予算
・スポーツクライミング第 1 回コンバインドジャパンカップ 2018 準備
・平成 30 年度東北六県山岳連盟(協会)連絡協議会開催について
・岩手山八合目避難小屋の夏季小屋への切替え作業について
・平成 30 年度岩手山八合目避難小屋管理当番について
・第 5 回岩手県リード選手権大会兼国体選手選考会について
・第 11 回岩手県山岳競技国体選手選考会について
・第 70 回岩手県民体育大会山岳競技要領について
・平成 30 年度残雪期講習会兼指導員研修会の開催について
・スポーツクライミングアジア大会 2020 の岩手・盛岡開催の決定
・スポーツクライミング第 1 回コンバインドジャパンカップ 2018 開催要項(案)について

以上について報告、協議決定(日山協関係については調整が必要)

※　県山岳協会の動向(一部再掲)

1/4(木)	選手強化打合せ会	盛岡
1/7 日(日)	事務局協議	
1/10(日)	県山協会計監査	
1/12(金)	1 月日山協常務理事会	東京
1/13(土)	日山協新春懇談会	
1/14(日)	臨時部長会	
1/15(月)	盛岡地方法務局協議	盛岡

1/16(火)　部長会
1 月 19 日　第 1 回県山協常任理事会
1/20(土)　東京都岳連新年交賀会　会長　東京
1/21(日)　加盟団体長会議　盛岡
1/22(月)　県庁、盛岡市協議　盛岡
1/24(水)　県山協評議員会　盛岡
1/27(土)-28(日)　県指導員会研修会兼新年会　久慈市
1/31(水)　コンバインド打合せ　盛岡
2/2(金)　定時総会準備作業
2/3(土)　岩手県山岳協会定時総会　盛岡
2/3-4　ボルダリングジャパンカップ　駒沢
2/5(月)　県庁表敬訪問　盛岡
2/8(木)　2 月日山協常務理事会　東京
2/10(土)-11（日）冬山講習会　三ツ石山
2/13(月)　部長会　盛岡
2/16(金)　法人化協議公証人役場、法務局　盛岡
2/18(日)　日山協全国理事長会議　東京
2/21(水)　コンバインド全国大会県協議　盛岡
2/22(木)　3 月日山協常務理事会　東京
2/25(日)　スポーツクライミングウインターセッション　盛岡
3/3(土)　日山協第 4 回理事会　東京
3/-4　リード日本選手権大会　加須市
3/7(日)　アジア大会、コンバインド県、市協議　盛岡
3/10(土)　県山協法人化協議　盛岡
3/10(土)　高体連退職顧問送別会　盛岡
3/14(水)　第 2 回県山協常任理事会　盛岡
3/18(日)　岩手県ボルダリング選手権大会権国体選考会盛岡
3/22(木)　盛岡公証人役場協議　盛岡
3/24(土)　岩手県営運動公園スピード施設利用説明会　盛岡
3/26(月)　コンバインド県、盛岡市協議　盛岡
3/29(木)　大迫高校菅原校長表敬訪問　花巻
4/1(日)　運動公園登攀施設スピード施設完成セレモニー
4/7(土)　岩手県山岳協会指導員会総会　盛岡
4/7(土)　県山協臨時総会打合せ　盛岡
4/8(日)　日本山岳会岩手支部総会　盛岡
4/12(木)　日山協常務理事会　東京
4/15(日)　山協ニュース 204 号発行

今後の予定

4/14(土)　岩手県山岳協会臨時総会　盛岡
4/14(土)　一般社団法人岩手県山岳協会設立時社員総会
4/14(土)　一般社団法人岩手県山岳協会設立時理事会
4/20(金)　盛岡地方法務局協議　盛岡
4/23(月)　コンバインド県、盛岡市協議
4/26(木)　参与会桜観会　盛岡
4/26(木)　コンバインド 2018 盛岡実行委員会
4/28(土)　県山協リード選手権大会　盛岡
5/1(火)　一般社団法人登記申請　盛岡
5/1(火)　(一社)岩手県山岳協会理事会　盛岡
5/12(土)-13(日)東北地区岳連(協会)連絡協議会　八幡平市
5/16(水)　県山協理事、スタッフ会議　盛岡
5/17(木)　日山協常務理事会　東京
5/26(土)　日山協理事会　東京
6/6(水)　(一社) 岩手県山岳協会理事会第 2 回理事会　盛岡

加盟団体の皆さんへコンバインドジャパンカップへの協力のお願い

6 月 23 日(土)と 24 日(日)の二日間、日本で初めてのコンバインドジャパンカップ 2018 盛岡大会が盛岡市県営運動公園で開催されます。

加盟団体の皆さんに、競技役員の派遣委嘱の要請がこれから出ると思いますので、競技役員をお願いされました方は、ご協力をお願いします。

岩手で、スポーツクライミングの全国大会は、国体、リードジャパカップに次いで三回目ですが、今回の大会は、主催は（一社）日本山岳・スポーツクライミング協会ですが、実質的な運営は岩手県山岳協会となります。

大会は、初日は予選で、男女各 30 名が出場します。二日目は

決勝となります。会場は、ボルダリングが隣接の岩手県勤労身体障がい者体育館の仮設ボルダリング施設で、リードとスピードは運動公園内の施設で行われます。今回の大会には、伊藤ふたば選手をはじめ地元枠で数名の選手も出場します。日山協の日本代表選手の出場も予定されており、ハイレベルな戦いが予想されます。なお、当日は、いずれの会場も無料で観戦できます。

事務局編集担当より

山協ニュース 204 号の発行が 4 月下旬にずれ込んでしまい申し訳なく思っています。いよいよ、春山へと季節が移り、本格的な登山シーズンに入ります。4 月 28 日（土）と 29 日（日）の岩手山八合目避難小屋の冬囲いも予定通り終わり、御成り清水も順調に出ているとのこと。伊藤ふたば選手は、世界での連戦に羽ばたいています。引き続き応援をお願いします。

協会は、5 月 1 日からいよいよ一般社団法人としてスタートします。今年は、法人組織として規程や会計手続き等少し煩わしい点も出てくると思います。慣れるまで大変かと思いますが、力を合わせて進めていきたいと思います。加盟団体の皆様引き続きよろしくお願いします。